



巻頭特集
好奇心や
探究心を
育む遊び

一緒に作って、対話しよう!

立体作品に挑戦だ!

学校教育で取り入れられるようになり、いま注目を集めている「探究」というキーワード。「探究心」や「探究型学習」というのは、どんな学びなのだろうか。今回は、探究型に力を入れている民間学童保育・放課後等デイサービス「ヒトノネ」で、楽しみながら簡単にできる探究活動を、松原さん親子が体験してきたよ。

体験したのは

笠松町在住
松原さん親子

宏樹パパ・聡子ママ
ゆうま
悠真くん(5歳)
まゆか
菜侑花ちゃん(4歳)



教えてくれたのは

一般社団法人ヒトノネ
代表理事 篠田花子さん
アートやSDGs、学習を教
えているハナコ先生。
5歳・7歳・10歳の子育て
に奮闘中のパワフルママ





03 立体になるように組み立てよう



「みんな協力してできたわ！」

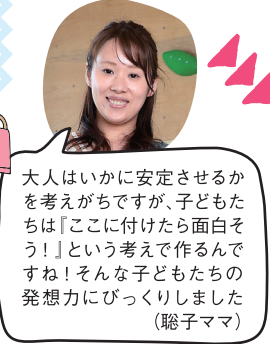
「11本の点から3本の棒」が頑丈な作品を作るコツ

束ねた部分から広がる3つの棒を、どんどん付け加えて大きくしよう！

04 合体させたり、中に入って遊ぼう！

ハナコ先生の知っとく情報！

災害時の遊びとして
新聞紙とセロハンテープがあればできるため、災害時のあるべき遊びとしても重要になります。幼児から大人まで、さまざまな世代で一緒に楽しめる遊びなんです。



大人はいかに安定させるかを考えがちですが、子どもたちは「ここに付けたら面白そう！」という考えで作るんですね！そんな子どもたちの発想力にびっくりしました（聡子ママ）



「遊ぶのも楽しい！」

新聞紙を使った立体作品に挑戦！

01 新聞紙で長い棒を作ろう



「細く巻くのって難しい」

新聞紙を1枚広げて、角から丸めていこう

「私がテープを留める係ね！」



「一緒に協力すれば、うまくいきそう！」

最後に、巻き終わりをセロハンテープで留めたらできあがり

02 目印をつけた棒を、3本ずつセロハンテープで束ねよう



基準の棒に合わせて、両端を折って目印をつけるよ！



この棒をたくさん作ろう！



「棒が折れないように、端っこを持つよ」

「どうして三角形をつくるの？」

三角形は余計な力を分散できて衝撃に強い。だから、壊れにくい構造を作るためにはぴったりの形なんだよ！

子どもの興味や関心が出発点
考える力や協働する力を育む

「どうして？」「不思議！」子どもたちはいつだって好奇心でいっぱい。探究的な学びとは、子どもたちの好奇心を出発点としてその先にある探究心を軸に学びを深める方法だ。試行錯誤しながら思考力や挑戦心、問題解決能力を養う。

「実は子どもたちは、遊びの中で自然に探究をしているんです」と話すのは、ハナコ先生ことヒトノネの篠田花子さん。探究型児童保育・放課後等デイサービス

の運営を通じて、日々探究的な学びを実践している。

「今日は、自分の背丈よりも大きな構造物を作ってみよう！」。探究活動がスタート。「えー、できるかなあ」と不安そうな悠真くん。まずは、構造物を作るために必要な頑丈な棒を作ることから。真剣な表情で新聞紙を丸める悠真くん。「巻き始めは細く。そのまま緩まなようにギュッと巻いてね」とアドバイスをもらおうと、ママと協力して固い丈夫な棒ができた。この棒を使って、いよいよ大きな構造物を組み立てていく。

ハナコ先生のワンポイント講座！

ちょっとの工夫で夏らしく！
蠟ペーパーと新聞紙で飾りを作ろう！

身近にある材料でできる工作をもうひとつ。用意するのは折り紙（お気に入り柄の紙ナフキンでも可）と削った口ウソク。紙の上に削った蠟を置き、アイロンで溶かしてコーティングすれば、光が透けてきれいな蠟ペーパーのできあがり。光に透かすと素敵な透明感と硬さが出ます。いろいろな柄を使って素敵な飾りを作ってみよう！

作り方は動画を見てね！

興味のある先にあることを知る
遊びを通して学びのプロセス

「最初に、テントのような三角形を作るよ。さて、この形は何本の棒からできているでしょう？」と、ハナコ先生からクイズが！「うーん、4本かな？」と、一生懸命かぞえる

子どもが自分で主体的に考え、興味を持ったことを他の人と協力しながら進めていく。この遊び全体が学びのプロセスになっているんですよ」とハナコ先生。「子どもたちが『こればく（わたし）にもできるよ！』と意欲的に取り組む姿を見て成長を感じました。家族が団結したように思います」と聡子ママも微笑む。松原さん親子にとって、探究する楽しさを存分に味わう1日となった。

新聞紙を広げて、つなげて、 大きなバルーンをつくろう



新聞紙とセロハンテープ、この2つの材料だけでできる工作にチャレンジ!



新聞紙で大きな袋を作り、扇風機で空気を
入ると…こんなに大きく膨らんだ!

ちょっと触ったくらいでは破れない、新聞紙の意外な強さに驚き!
つなげるのは、セロハンテープのような軽い素材が良い。



「壊していいよ!」と言われ、
大興奮の子どもたち。みる
みるうちに小さくなったよ。



みんなで協力してつくろよ



あっ!大変!
ここ、空気が
漏れてるよ。
セロハンテープで
修理だ!

ハナコ先生がいるヒトノネってこんなところ!

「共に生きる社会を創る」ことを目標に、
放課後や長期休暇を中心に子どもを預かり、
体験的・探究的な学び、学習支援、居場所づくりを実践している。

子どもたちが本来持っている「生きる力」を育てたい。さまざまな人と関わるなかで、こんな未来もあるんだとワクワクできるような場をつくりたい。「育ち合う社会をデザインする」を合言葉に、ヒトノネではさまざまな子どもたちの成長を支援する取り組みをしている。地域に住む市民の方を先生に迎え、アート・SDGs・スポーツ・音楽・キャリアなど多彩な体験活動を行う。一人ひとりの個性にあった学習支援も行う。



●女性の活躍を応援!●

預けたいと思える場が身近にあれば、女性もキャリアを諦めずに活躍できるはず。ヒトノネは子どもも親も支える場。

●「ぎふ女のすぐれもの」に認定●

岐阜県では、女性が企画・開発に貢献しているモノやコトから「ぎふ女のすぐれもの」を認定している。ママ発のアイデア講座が評価され、令和2年度認定を受けた。

ヒトノネでは、利用児童・スタッフを募集しています!

仲間
募集

ヒトノネで働くことorボランティアに興味のある方はぜひ問い合わせください

利用者
募集

お子様のご利用に関する問い合わせもお待ちしております

探究型学童保育ヒトノネ
放課後等デイサービスみちな
不登校児支援 あいまる

〒500-8814
岐阜市今川町2-2(岐阜市役所より徒歩5分)
TEL/058-216-5807 HP/info@hitonone.com
〒502-0903
【美島教室】岐阜市美島町3-25(岐阜北高校近く)

